

H 2 1 . 1 2 . 2 1 設楽ダム猛禽類検討会 議事概要

日 時：平成 2 1 年 1 2 月 2 1 日 (月) 1 5 時 0 0 分 ~ 1 7 時 5 0 分

議事概要：

表 H 2 1 . 1 2 . 2 1 設楽ダム猛禽類検討会の議事概要

議事項目	議事内容	報告事項	委員の主な意見	意見に対する回答
1.猛禽類検討会の検討経緯について	・猛禽類検討会の経緯、前回検討会での指摘と対応について報告した。	・特になし	・ CCD カメラの撮影記録から雛の消失原因は分かったのか。	・事務局：雛や親の様子については、目立つような行動はみられなかったことから、CCD カメラから消失の原因は特定できなかった。
2.平成 2 1 年繁殖シーズンの調査結果について	・クマタカ、オオタカ、ハチクマ、サシバの調査結果について報告した。	・ B ペアが既往の営巣地より大きく離れた場所で繁殖に成功した。 ・ C ペアの行動圏の内部構造の検証を行った。 ・ ダム事業以外の工事計画に対するオオタカへの影響を検討した。	・ C ペアの幼鳥の行動範囲を推定する際に、7 月、8 月の巣立ち後のデータを入れる必要があるのではないか。	・事務局：7 月、8 月は、巣の近くから動かないため、行動圏が大きくなった 1 1 月以降のデータを用いて推定した。
			・ B ペアの巣が大きく移動したが、個体の入れ替わりは起こったか。	・事務局：個体の入れ替わりは確認できていない。
	・ CCD カメラによる観察状況について報告した。	・ CCD 撮影記録から哺乳類、鳥類、爬虫類を餌としていることが把握された。 ・ 他ダムのとの比較の結果、その地域の環境に応じた餌を食べていることが把握された。	・ ダム事業以外の工事計画に関しては、オオタカの巣からも距離が離れており、建設については、問題ない。	・事務局：来シーズン以降のモニタリング調査については、留意しながら調査を実施する。
			・ ムササビを餌としているが、どんな時間に持ってくるのか。 ・ その他の植生とはどんなものがあるのか。	・事務局：詳細については確認できていない。 ・事務局：確認する。
3.平成 2 2 年繁殖シーズンの調査計画(案)について	・平成 2 2 年繁殖シーズンの調査計画(案)について説明した。	・ B ペアの調査頻度を増加させた計画案を提案した。	・ C ペアは、工事区域に近づいてきているので、もう少し工事区域側の調査を考慮してはどうか。	・事務局：かつては、最も事業と離れていたペアだったが、現在は、工事区域に最も近いペアになるため、調査内容について検討する。
4 .平成 2 2 年度に実施する環境保全措置等の検討について	・平成 2 2 年に実施予定の工事に関する環境保全措置等について説明した。	・平成 2 2 年度までの工事計画では、クマタカ 3 ペアのコアエリア内及びオオタカの高利用域内での工事を予定していない	・今回、H21 年と H22 年の工事計画が示されているが、今後、12 月あたりに報告を兼ねてやる場合、来年の 4 月、5 月頃の工事はもう明らかになって、対策がとれるというスケジュールになっていくのか。	・事務局：年末のこの時期までには、来年度の大体の工事箇所を絞り込んで、ご検討して頂くことは可能であると考えている。

		<p>め、事業による影響は小さいと報告しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・設楽ダムのペアは繁殖率がとても低い。それは、生息環境が悪いためと推測される。そのため、繁殖率が良好な他の地区で影響が少ない工事でも、設楽ダムでは繁殖に影響が出る可能性があり、工事は慎重に進めた方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局：御指摘の通り、慎重に進めていく。
			<ul style="list-style-type: none"> ・工事関係者への巣の情報の提供は、工事関係者が、クマタカの繁殖阻害をしないように注意するという視点からは良いが、意図せず巣を見上げてしまう等と言う行動を取ってしまう、繁殖に悪い影響を与える可能性もあるので、巣の情報を提供する場合には注意して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局：注意する。